



WOVN.io

ESG 経営における Web 多言語化の重要性

Wovn Technologies株式会社

企業の理念や経営方針を語るうえで、ESG や SDGs といったキーワードが使用される機会が増えています。中でも企業に対しては、ESG の観点で具体的な取組を通じて社会課題への対応を推進させる ESG 経営が求められています。

今後は、企業の ESG 経営において Web 多言語化が不可欠になると考えられます。世界に向けた ESG 経営方針の発信や、社内外の多様なステークホルダーとのコミュニケーションにおいて、Web サイトやアプリが多言語で展開されていることは必須だからです。

本稿ではまず、企業において ESG 経営が求められている背景を振り返ります。次に、Web 多言語化が ESG 経営に貢献する理由を説明します。最後は、実際のステークホルダーからの声として、ESG 重視型グロースファンド MPower Partners Fund L.P. の代表パートナーであり、100万部のベストセラー「ファクトフルネス」の翻訳者でもある関 美和さんのメッセージを紹介します。

目 次

- 01. なぜ企業が ESG に取り組むのか
- 02. ESG に貢献する Web サイト多言語化
- 03. ESG 重視型グロースファンド MPower 関さんのメッセージ
- 04. 最後に

01. なぜ企業が ESG に取り組むのか

環境問題や少子高齢化に加え、感染症拡大がもたらした経済危機などの社会課題が顕在化する中で、将来の不確実性が高まっています。また、様々な立場やニーズの人々が共存する必要性から、多様性の尊重が一層叫ばれるようになりました。

企業に対する期待も変化しています。**財務状況のみならず社会的責任を果たしているかという非財務面でも評価されるようになった**のです。ESG は企業が持続可能な世界の実現や自社の長期的成長を目指すうえで重視すべき観点です。同時に企業に対する外部からの評価指標になっています。

ESG は環境(Environmental)社会(Social)ガバナンス(Governance)を指します。
国内外の企業においては、例えば次のようなテーマの取組が進められています。

- E：オフィスやサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量削減
- S：従業員のワークライフバランス向上、顧客のプライバシー保護
- G：積極的な情報開示、リスクマネジメント

近年は世界の大手機関投資家が企業に対し脱炭素や多様性強化を求め、そのような対応を実現できる企業への ESG 投資が増加しています。また、企業が長期的に ESG に取り組むことで企業価値を実際に高める効果も認められ始めており研究では次の様な効果が発表されています(表1)。

ESG 取組の影響	詳 細
トップラインの向上	長期的な ESG の取組が評価材料となり調達案件の落札に繋がる 環境配慮のために多少価格が高くても消費者に評価され商品が売れる
コスト削減	エネルギー・水の使用量や廃棄物量の削減が営業費用削減に繋がる
企業価値の向上	長期的な ESG の取組が企業の資本コストを下げ企業価値を高める

表1. 長期的な ESG の取組が企業にもたらす影響

(表1の出典)
Henisz, W., Koller, T., and Nuttall, R. Five ways that ESG creates value. McKinsey Quarterly, November 2019.
根本直子「ESG投資を巡る課題」2021年6月22日 財務総合政策研究所 講演会資料

02. ESG に貢献する Web サイト多言語化

このように、顧客や投資家のみならず、従業員・取引先・地域社会といった、あらゆるステークホルダーへの影響を考慮した経営が求められています。そして、**企業が多くステークホルダーとコミュニケーションを行う中で、避けて通れないのが多言語化**です。

Wovn Technologies(以下WOVN)が提供するWeb サイトやアプリの多言語化ソリューションは、単なる翻訳に留まらず文化の違いを踏まえた UI/UX のローカライゼーションを支援します。ユーザ企業様においては次の様な考え方からWOVN の多言語化ソリューションが採用されています。

- 外国人従業員も含めた全社員に社内ポータルの情報を見て欲しい
- “外国人のため”ではなく、“すべてのお客様”の利便性を向上するのは当然
- どの言語も時差なく、等しく情報を届けるために迅速な多言語化が必須条件
- 日本語を主としない取引先との契約に多言語化が必要
- 環境や社会への取り組みを海外のステークホルダーに広く発信することが必要

Web サイトやアプリの情報を多言語化することは、多様性の尊重や情報格差の解消をもたらします。これにより、ESG 対応に必須である、多様なステークホルダーとのコミュニケーションが実現します。従業員満足度の向上や新規顧客獲得、ひいては取引先や投資家からの評価向上にも繋がり、より強い組織作りと事業推進が可能となるのです(図1)。

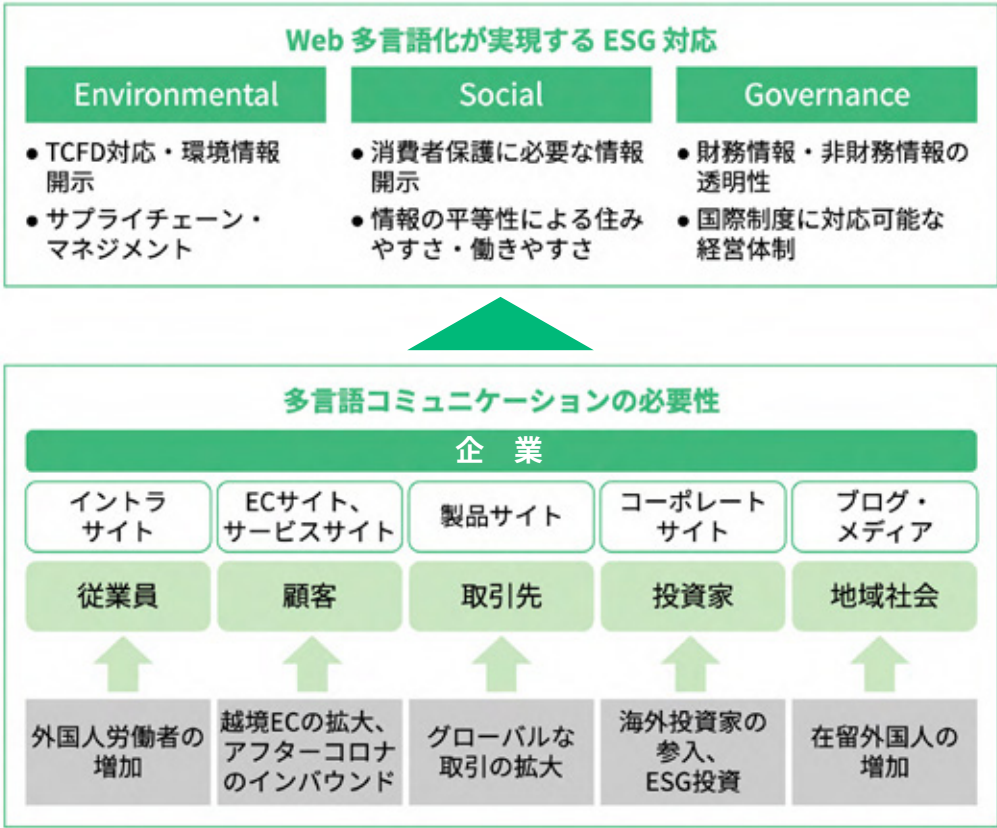


図1. 企業における Web 多言語化と ESG の関係

03. ESG 重視型グロースファンド MPower 関さんのメッセージ

WOVN は2021年7月に MPower Partners Fund L.P. (以下MPower) を始めとした36億円の資金調達を実施しました。MPower は2021年5月に設立された、**日本初の ESG 重視型グロースファンド**です。

MPower の代表パートナーであり、100万部のベストセラー「ファクトフルネス」の翻訳者でもある関 美和さんに、ESG 投資の観点から Web サイト多言語化の重要性についてインタビューしました。関さんは「ESG に取り組む企業の方が取り組まない企業に比べて持続的成長が可能である」Web サイト多言語化は ESG の観点で社会課題解決に貢献すると語っています。



投資家インタビュー

WOVN は「企業の ESG を促進する」。
投資家 MPower から見た
多言語化と ESG

MPower

W.

ESG に配慮している企業の方が持続的な成長が可能

『ESG は企業活動および投資の側面から持続可能な社会をつくるための観点です。私たち MPower が投資先企業を選定するクライテリアの一つが ESG マインドがありこれをきちんと実装できることです。あらゆる観点から企業を評価します』(表2)。

企業評価の観点		企業評価に繋がる理由 (仮説)
E	環境に配慮する事業の将来性	環境に悪影響をもたらしている企業は、環境を悪化させない新たなテクノロジーに淘汰される
S	人材の採用力	従業員の心身の健康やワークライフバランスに敏感に対応している企業の方が、優秀な人材を集めやすい
S	社員の多様性がもたらすビジネス機会	多様な人材を抱える企業の方が、多様な顧客の要望に対応するサービスや商品を開発できるため、ビジネス機会が広がる
G	経営層の多様性によるリスクマネジメント	リーダーシップ層に多様性を持たせて経営方針を多角的に検討することで、問題のある方向へ進むリスクを低減できる

表2. ESG 投資における企業評価観点の例

『上場株の世界では取引金額の6,7割は海外投資家です。海外投資家は ESG に関して様々な要求をします。ヨーロッパでは環境の基準に合わない投資しない投資家も増えています。ESG への対応がしっかりしていると企業価値が高まり、そうでないと企業価値が高まっていかないという現実が加速してくれば、日本国内でも積極的に ESG に取り組む企業が増えると思います』

Web 多言語化は社会課題を解決する

『多言語で情報を発信しコミュニケーションできるようになることは、言語の壁を越えたインクルージョンを推進することで、社会課題の解決に繋がります。』

例えば、自治体における煩雑な手続きや、災害時を含む様々なコミュニケーションが、日本語を母語としない人にとっても楽になります。企業においては、顧客市場や従業員あるいは海外現地コミュニティなど、多様なステークホルダーに向けて自分たちのポリシーや企業理念をアップデートできます。

加えて、WOVN の Web サイト多言語化ソリューションは、従来では負担やコストが大きかった多言語 Web サイト開発の生産性を向上してワークライフバランスの改善にも寄与しています。WOVN は、ダイバーシティとインクルージョンの推進に貢献するプラットフォームだと思います。』

04. 最後に

このように企業に対して地球規模の視点で社会課題に対応することが要請される昨今、企業にとって ESG の取組は不可欠です。また ESG 経営の状況についてあらゆるステークホルダーに伝えることも必要になります。世界に向けて情報発信できるインターネットを活用し、多言語でコミュニケーションをとることは様々な面で ESG に寄与します。日本企業の多くが ESG への取組を強化することで持続可能な事業、ひいては持続可能な世界の実現が加速することが期待されます。

お問い合わせ



メールでのお問い合わせ marketing@wovn.io



お電話でのお問い合わせ 03-6434-0246

導入に興味のある方はこちらから

